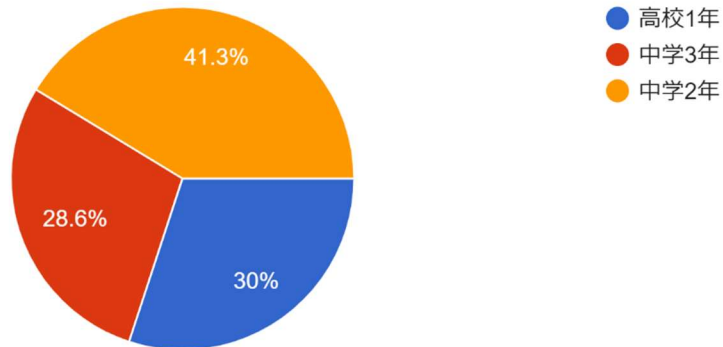


学校関係者評価結果

1. 2021 年度アンケート結果（生徒：中学2年生、中学3年生、高校1年生）

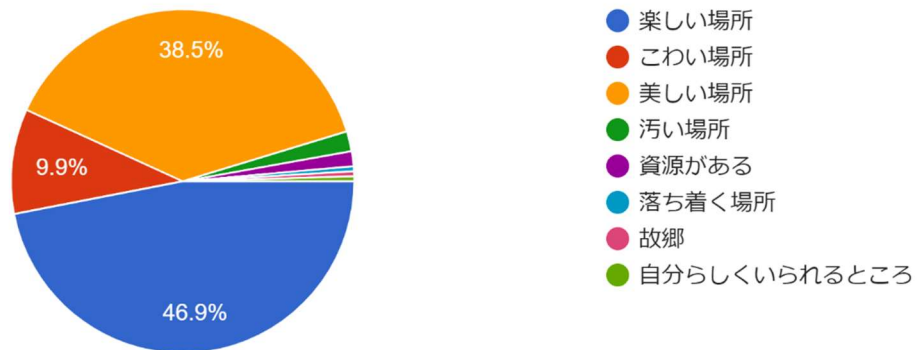
学年

213 件の回答



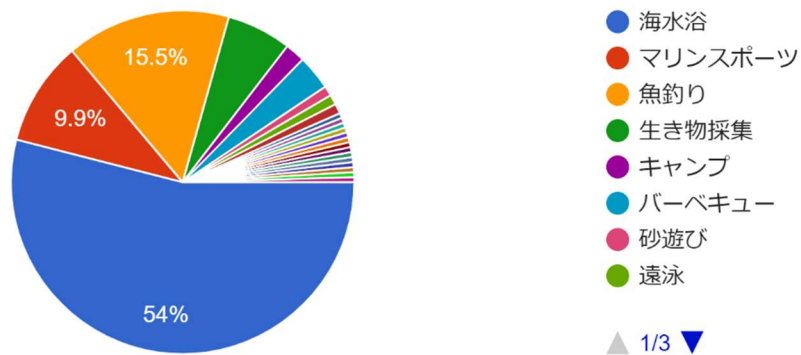
幼い頃からの今まで「海」という場所にどんなイメージを持っていますか。1つ選んで下さい。

213 件の回答



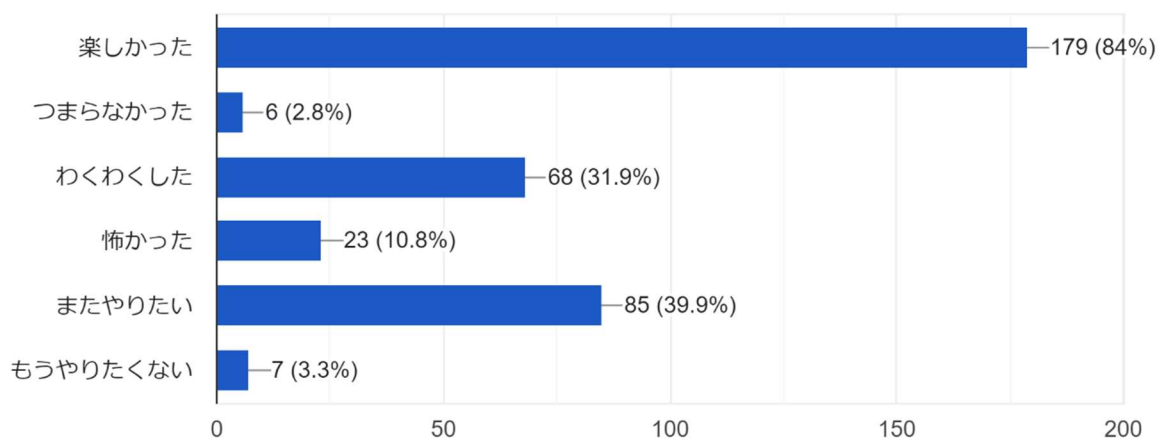
学校外で、最も印象の残る海に関する思い出を1つあげてください。

213件の回答



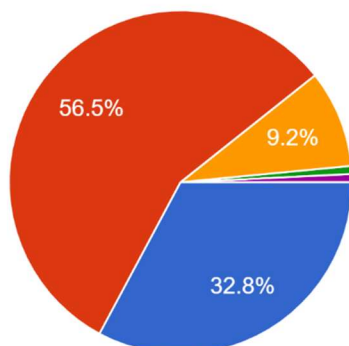
(中2, 中3, 高1) OPヨット実習の感想を次の中から選んでください。(複数回答可)

213件の回答



(中3, 高1) 海洋に関する学習の感想を次の中から1つ選んでください。

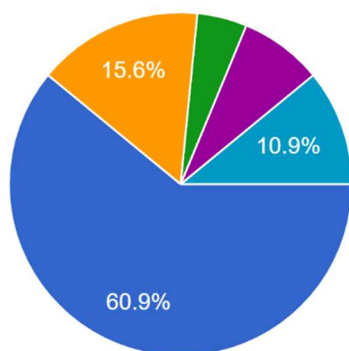
131件の回答



- 海について興味関心が湧いた
- 海について知識が深まった
- あまり関心が無かった
- 沖で練習したい
- 海の意外な面を知れたこと。。

(高1のみ) 遠泳実習の感想を次の中から選んでください。

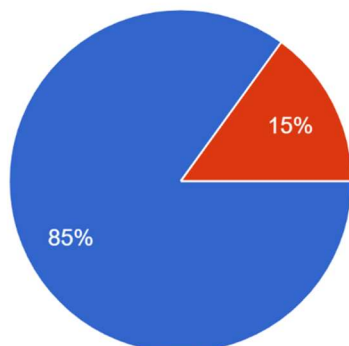
64件の回答



- 楽しかった
- つまらなかった
- わくわくした
- 怖かった
- またやりたい
- もうやりたくない

逗子開成には、海洋教育があることを中学入学前から知っていましたか。

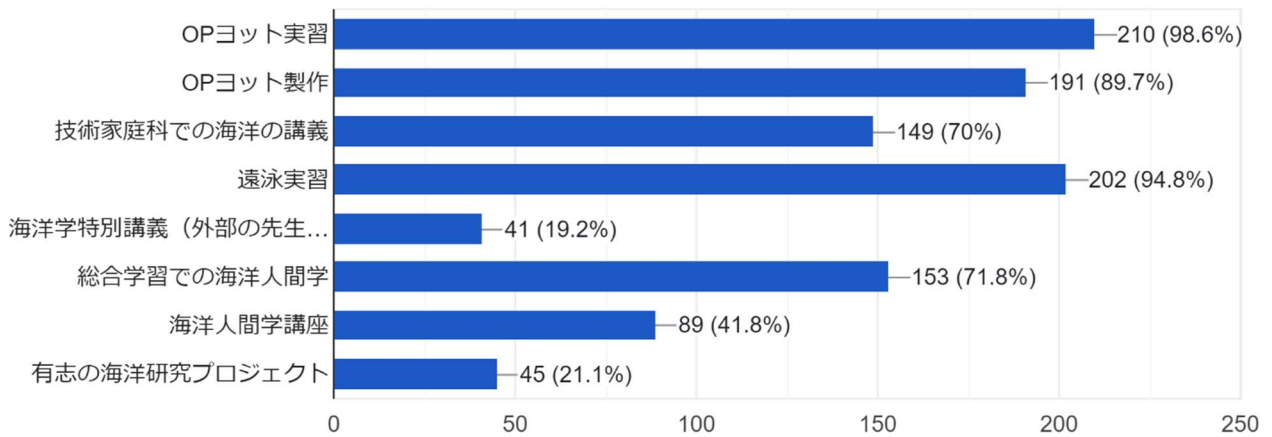
213件の回答



- 知っていた
- 知らなかった

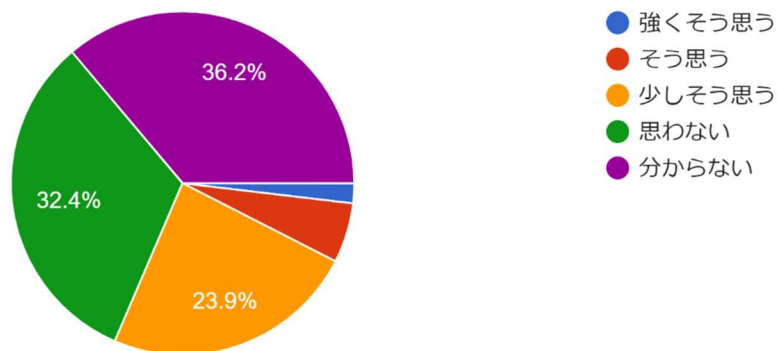
逗子開成の海洋教育の学習で知っているものを選んで下さい。体験していなくても構いません。

(複数回答可) 213件の回答



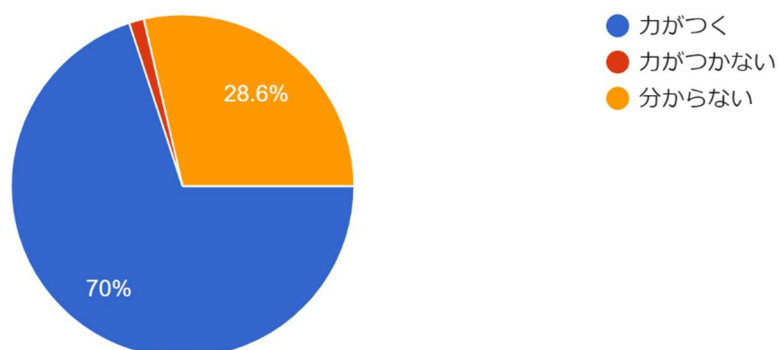
将来、海に関係する仕事に就きたい、海に関係する研究がしたいと思いませんか。

213件の回答



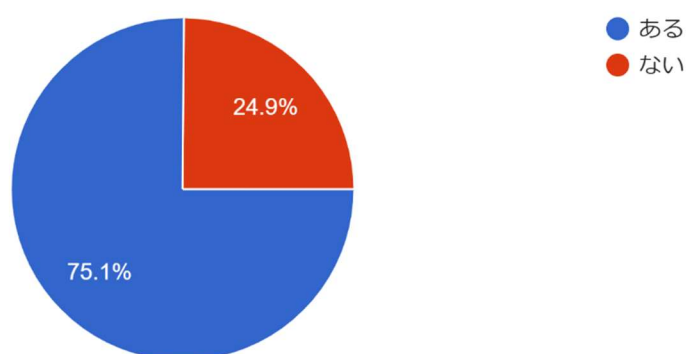
逗子開成の海についての学びから、自分には何か力がつくと思いますか。

213 件の回答



逗子開成の海についての学びを経験して、海に対する印象や考え方に変化はありましたか。

213 件の回答



前の質問で、「ある」と回答した場合は、具体的にどんな変化があったか答えて下さい。「ない」と答えた場合は、その理由を答えて下さい。

*回答から抜粋しています。

「変化がある」

- 以前は、海は美しい場所だと思っていたが、逗子開成に入学し、海洋教育を受け、津波などの怖い一面や、解決すべき問題があると知った。
- 海に対して漠然とあった感覚が具体的になった。海をいろんな観点から見ることができ（資源、環境汚染、災害など）。

- 海の水温はほとんど一定だと思っていたが、実際に泳いでみると水温に差があって意外だった。
- 波打ち際から十メートルくらいところまでしか移動したことがなかったが、遠泳実習やヨット実習などを通じて海はそれほど怖くなくて楽しいと感じる様になった。また、海はいろいろな役割を持っているのだということ意識しながら海を見られるようになった。
- 昔から海は漠然と「美しいもの、綺麗なもの」といったイメージがあったが、遠泳の時にふと「この底には足がつかないんだな」と思うと、海の雄大さが急に恐ろしくなり、その時から海はただ美しいだけでなく、怖い一面も持っている、ということに気が付いた。
- 学習前まで日本の海はただの「汚い場所」だと思っていたが、中1の海洋人間学で土曜講座を考える際に、海について改めて調べ、日本近海の海底には豊富な資源が眠っていることについて知った。それから私の中で海はただの「汚い場所」ではなく、エネルギー・食料などの多くの資源を抱える「豊かな場所」へと変化した。
- 浜辺のポイ捨てなどの軽い気持ちでやっていることが積み重なり深刻な問題になっていくことを考えるようになった。

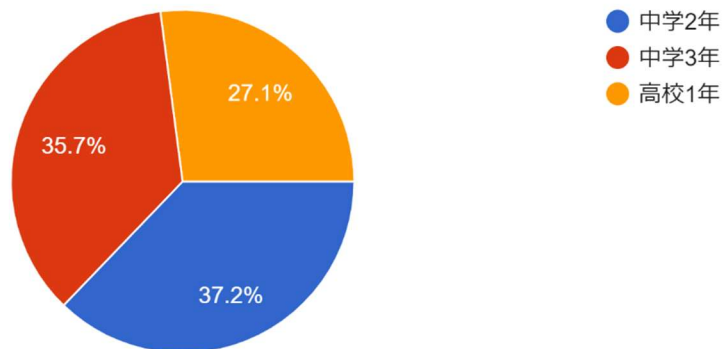
「変化がない」

- もとから海には楽しいという印象があり、今でもそう思っているから。
- 海は少し怖いところがあるものの、楽しい場所であり、人々の暮らしを支えているという点では、変わらないから。
- 元々魚が好きで、海については良く調べていたので、海そのものに対する考え方の変化はなかった。
- ヨット実習などで海に触れる機会があっても、昔からの海の印象が変わるほどではなかったから。
- 入学前から海の近くに住んでいて、海で遊ぶことも多く、海には良いイメージしかないから。

2. 2021 年度アンケート結果（中学 2 年保護者、中学 3 年保護者、高校 1 年保護者）

ご子息の学年

277 件の回答



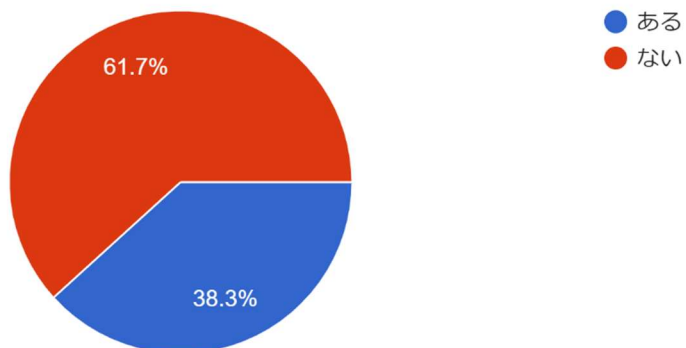
ご自宅の地域

277 件の回答



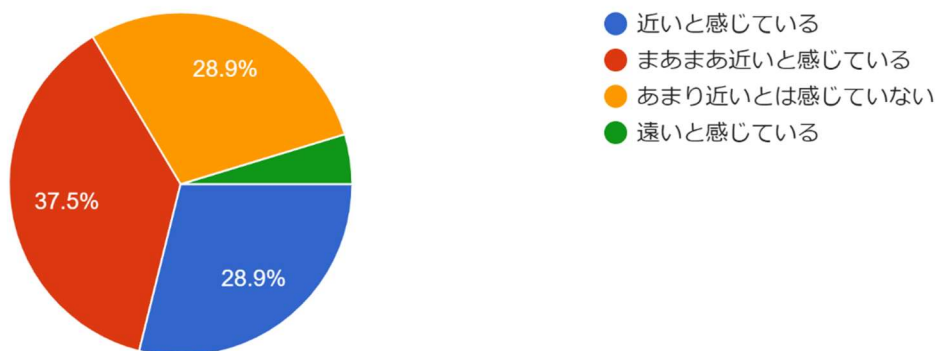
これまでに本校のOPヨット実習を見学されたことはありますか。

277 件の回答



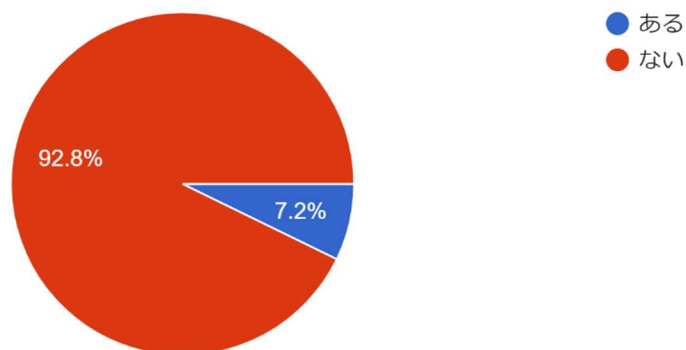
ご自宅は海に近いと感じていらっしゃいますか。

277 件の回答



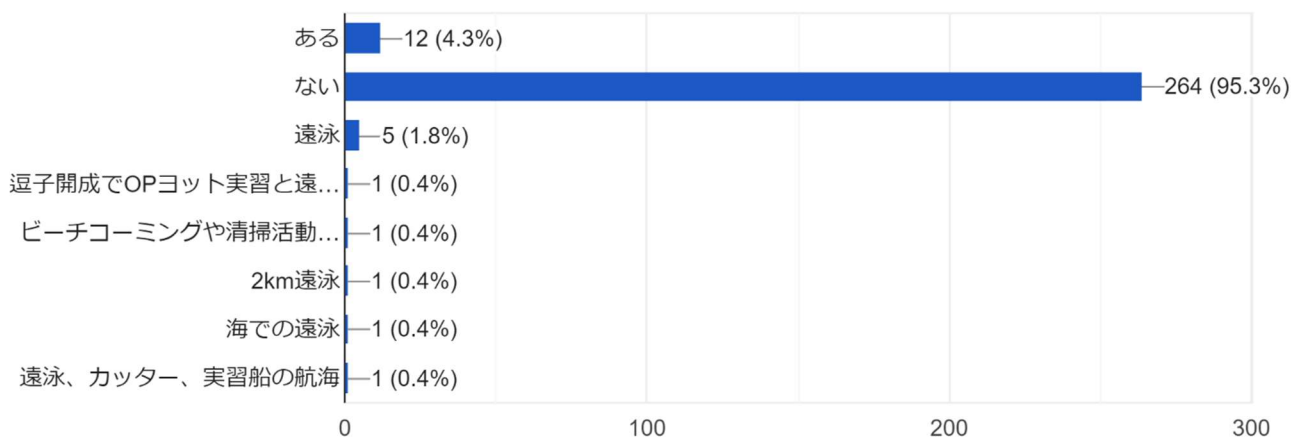
これまでに本校の遠泳実習を見学されたことはありますか。

277 件の回答



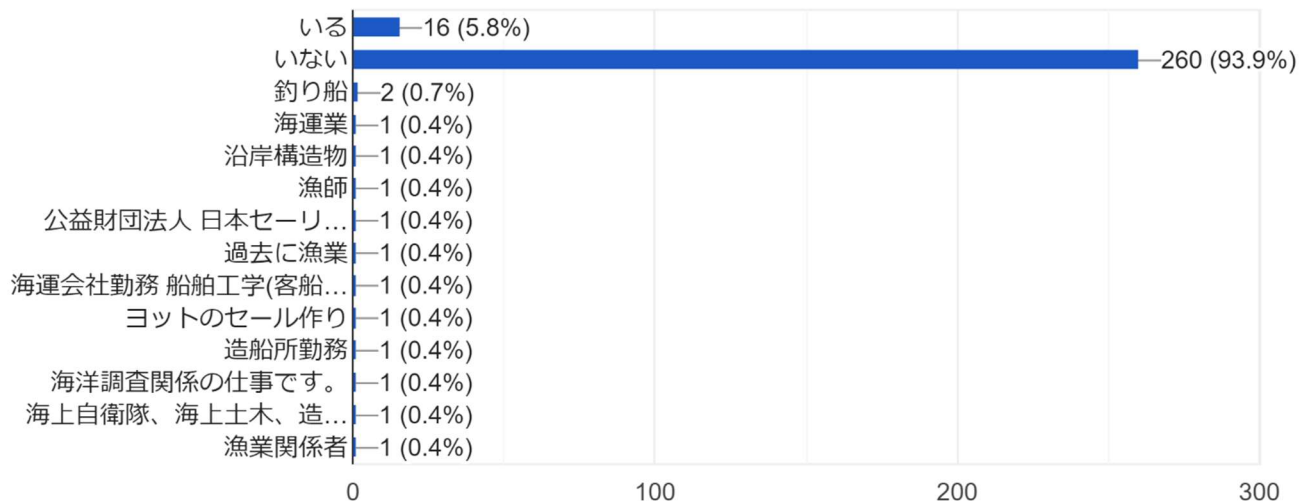
ご自身が学校で海洋教育を受けられたご経験はございますか。「ある」とお答えの場合、「その他」に具体的な内容を簡単にお教え下さい。

277 件の回答



海洋に関係するお仕事に就かれている方が、家族やご親戚にいらっしゃいますか。「いる」とお答えの場合、お差支えなければ、「その他」に仕事の内容を簡単にお教え下さい。

277件の回答

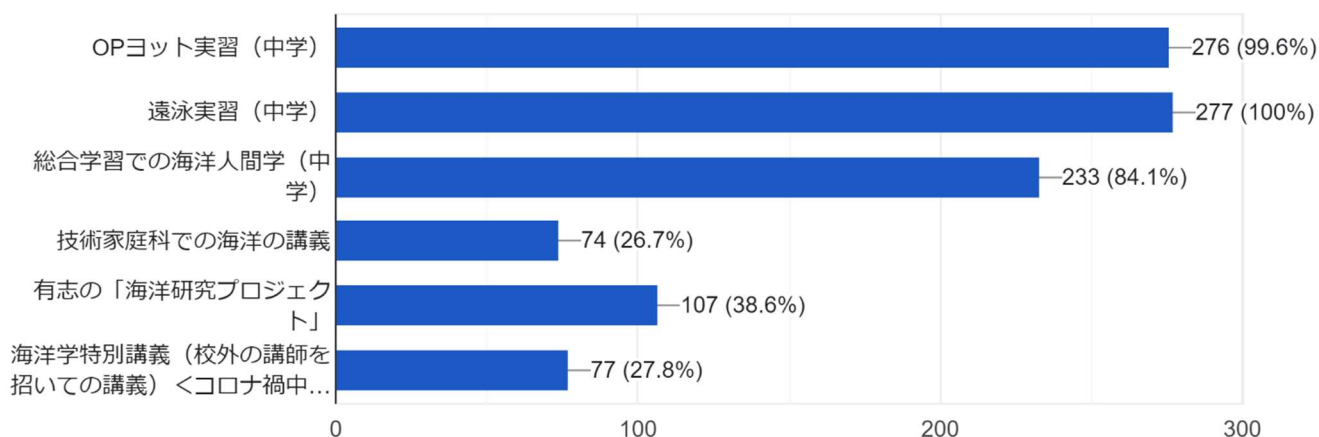


<仕事の内容>

海運業、船舶工学(客船、各種船舶設計)、公益財団法人日本セーリング連盟外洋常任委員会、沿岸構造物、海洋調査関係、造船、漁師、漁業関係者、釣り船、ヨットのセール作り、海上自衛隊、海上土木、海上保安官

本校の海洋教育の実践で、ご存じのものにチェックして下さい。(複数可)

277件の回答



本校の海洋教育が、ご息子にどのような成長をもたらすとお考えですか。

大別して次の4つのことについて、回答されている方が多く見られました。分類にあたり注目させて頂いたキーワードも挙げておきます。

①自然との付き合い方について成長を促す。

<キーワード>

環境保護、環境問題、自然に対する畏敬の念、海との共生、海の豊かさと怖さ、命の大切さ など

②自立や協働を促す。

<キーワード>

秩序やチームワーク、自分との戦い、決断力（その場で考える力）、コミュニケーション など

③心身の成長を促す。

<キーワード>

チャレンジ精神、危険予知、柔軟な思考力、健康、バーチャルでない世界を体感する、大らかな気持ち など

④視野を広げることができるようになる。

<キーワード>

海に関する知識、ものの見方、将来の進路の選択肢が広がる、想像力、創造力 など

以下、回答を何点か抜粋しました。

（高1保護者）

昨年、遠泳を経験しました。隊列を組んでみんなで泳ぎ切れたことは大きな達成感と自信、皆で協力することの大切さを実感できたように感じました。机上では学ぶことのできない貴重な経験のお陰で、人間的に逞しく成長できたと確信しています。

自然の恐ろしさと同時に、人間にさまざまな豊かさを与えてくれる豊潤さを有した海に接することで、相対的に人間の限界を知り、同時にそれを克服する人間の勇気や知恵があることも知ることができる。

（中3保護者）

他の学校では経験できないことが多く、子供が新しいことに興味を持つきっかけになっている。学校の授業等を通じて津波のメカニズムについて興味を持ち、大学の理学部に進学し、地震や津波について勉強したいと言うようになった。

海を身近に感じることで、人間には抗うことの出来ない自然との付き合い方を学び、今多発している自然災害などにどのように向き合っていけば良いかを考えるきっかけになるのではないかと思います。

(中2保護者)

自然という、自分の力ではコントロール出来ないものと向き合うことで、対応を考えたり調整しようと工夫する力が身につくかと思います。

ヨット制作や OP 実習、遠泳を通して遅くなってほしい。総合学習や講義を通して、環境問題などを多面的に考え、将来の進路を考えるきっかけになってほしい。

海洋人間学「海の土曜講座を企画しよう」に参加して

東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻 客員共同研究員
(前 東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センター 特任准教授)

丹羽淑博

昨年度に続き、今年度も逗子開成中学校 1 年生の海洋人間学「海の土曜講座を企画しよう」の授業実践に一部見学・参加させていただきました。本実践は、土曜講座の企画づくりを通じて、生徒が自らの関心に応じて情報を収集・整理し、海を題材とする探求テーマを設定し、企画書にまとめ、発表する体験を通じて、これからの探求活動の基礎力を養うとともに、海への関心・理解を深める試みです。「総合学習」と「海洋教育」を融合させたユニークな取り組みとして、海洋教育が普及する中で全国的に参考にされる貴重な実践となっています。

今年度の授業実践では、昨年度の経験をふまえてさまざまな改良が行われました。はじめに東京大学海洋教育センターが制作したアニメーションや冊子を教材として海が持つさまざまな側面や問題に触れたのち、探求活動の基本となる図書室やインターネットを使った情報の収集方法を学ぶ導入部分は基本的に昨年度と同じですが、今年度は図書館で生徒用の海洋関連図書のリストを用意するなどより充実した支援体制がつけられたと聞きました。それに続く、テーマ設定では、今年度は生徒が得意とする教科に応じて数人のグループに分かれて、その教科に関連した海のテーマを各グループで探る方法がとられました。そうすることで教科横断的テーマを設定しにくくなるというデメリットはあるものの、得意教科の学習内容を海との関係から見直してグループで議論を重ねることにより教科学習の有用性や意義を発見し、学習意欲の向上へとつながる相乗効果が期待されます。さらに、今年度はテーマ設定の中において新たに逗子海岸の散策の時間も組み入れられました。最初は海を見て開放感にひたっていた生徒たちでしたが徐々にグループに別れて海岸の漂流物や貝殻を触りながら議論する様子が見られ、普段から親しみ見慣れている海を学びの場として捉え直し、本やネットからだけでは得られない本物の海の体験をテーマ設定に取り入れていこうとする積極的な姿勢を見られました。

生徒たちが設定したテーマは、海と直接関係する理科や社会科についてのものが半数程度で、残りは数学、国語、音楽、技術、保健体育に関するものと、生徒の自由な発想をいかした多様なテーマが提案されました。昨年度は導入部分に使用した教材の内容にテーマが引きずられた傾向が見られたため、その点において今年度はカリキュラムの工夫により大きな改善が見られました。今後の課題としては、昨年度と同様、本やネットで得た抽象的な情報・知見を使って、目先の逗子の海を舞台にして自分たちのできる範囲で具体的な調査・活動につなげていくテーマをさらに引き出していけるとよいでしょう。

最後に、コロナ禍のさなか、このような貴重な授業実践を企画し見学・参加する機会を与えてくださった逗子開成中学校・高等学校の皆様方に厚く御礼を申し上げます。